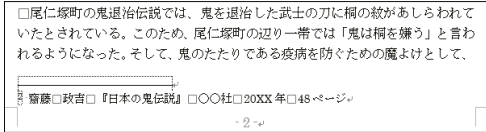
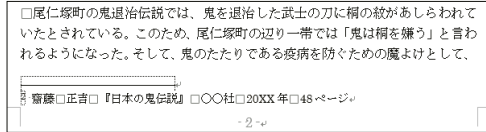
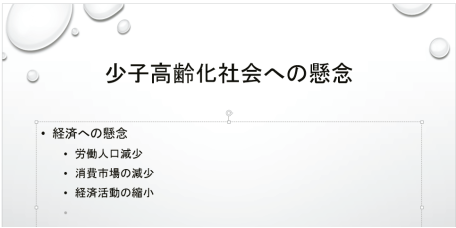
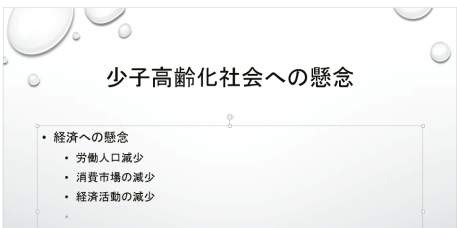


各 位

「イチからしっかり学ぶ！Office 基礎と情報モラル」に誤りがありました。
 謹んでお詫び申し上げますとともに、誠にお手数ですがご訂正の程よろしくお願い申し上げます。

ページ	誤	正
P.88 (1) 作成するレポート	完成の3枚目のキャプチャの脚注 齋藤 政 吉 『日本の鬼伝説』 ○○社 20XX年 48 ページ ※差し替えページを付けています。	完成の3枚目のキャプチャの脚注 齋藤 正 吉 『日本の鬼伝説』 ○○社 20XX年 48 ページ
P.98 (9) 脚注	④のキャプチャ  ※脚注 齋藤 政 吉	④のキャプチャ  ※脚注 齋藤 正 吉
P.196 1) 2枚目のスライド	⑥続けて「消費市場の減少」、「経済活動の 縮小 」と入力して、[Enter] キーを押す 	⑥続けて「消費市場の減少」、「経済活動の 減少 」と入力して、[Enter] キーを押す 
P.253 1) 感染経路	ウイルスには、トロイの木馬、ワーム、 ポッド などと ポッド (右側の青囲み内)	ウイルスには、トロイの木馬、ワーム、 ポット などと ポット (右側の青囲み内)

Lesson 2 レポートに必要な機能を学びましょう

(1) 作成するレポート

学生生活でレポートを提出する機会は何度もあります。
この Lesson では、レポートの体裁を整え、作成時に必要な機能を学びましょう。

提出年月日：〇〇年〇〇月〇〇日
フィールドワーク演習担当員 藤田 敏弘 先生

尾仁塚町の地域調査に関する報告
——「鬼」と共存する町——

社会学部 S100579 横山 君子

●はじめに

□今回、私は A 市東区尾仁塚町について調査した。

□尾仁塚町では一時期、人口の減少や経済の衰えなど、衰退の一途をたどっていたが、近年、「鬼の町」「精練工の町」として町おこしに成功しつつある。今回、尾仁塚町の地域調査を行うことで、衰退しつつある小さな町を救う秘訣を探ることができるのではと考えた。

●尾仁塚町の名称の由来

□尾仁塚町は「おにづかちょう」と読み、かつては「鬼塚町」と表記されていた。

□なぜ鬼塚町と呼ばれるようになったかという、昔の町に鬼がいたという言い伝えがあるからである。

□尾仁塚の鬼の伝説については、次項で詳しく述べることにする。

●尾仁塚町と鬼退治伝説

●鬼塚について




図 1 鬼塚の写真 (〇〇〇〇/〇〇/撮影)

□尾仁塚町の中心部には「鬼塚」と呼ばれる小さな墓がある。これは、鎌倉時代初期に録の武士によって退治された鬼の墓とされている。

□この地方に伝わる物語によると、その昔、尾仁塚町の村では鬼が出現し、人々を苦しめていたという。そこに旅の途中の武士が通りかかり、鬼を退治した。

□ところが鬼が退治されたから、村に疫病が流行りだした。疫病は鬼のたたりだと恐れられた村人たちは、鬼を供養するための墓を立て、神として祭ることにした。

●参考文献

●〇〇新聞 (20XX年〇〇月〇日) □「ピクニックアップ町おこし」

その墓が、この町の名前の由来ともなっている「鬼塚」だと伝えられている。

●鬼退治まつり

□鎌倉時代には人々を苦しめた鬼だが、現在では、観光客を呼ぶ人気者として町おこしに貢献している。

□鬼塚の言い伝えは、どこにもあるような昔話として、近年まで注目されることはなかった。しかし、2000 年ごろ日本全国で広まった陰陽師ブームのおかげで、陰陽道だけでなく、各地の少し不思議な伝説にも注目が集まることとなった。このような陰陽師ブームは尾仁塚町の鬼にも注目を集める機会を作った。パワスティ番組などで尾仁塚町の鬼退治伝説が取り上げられ、尾仁塚町は「鬼退治の町」として知られるようになったのである。

□鬼を退治した武士の正体は分かっていないことも、尾仁塚町の鬼を注目させる要因となっている。冒険の「鬼を退治した武士についての伝説はほとんどない。一般には平家の落人だとも言われているが推測の域を出ない」という解説にもあるように、鬼を退治した武士の正体は不明である。そのことが、よりミステリアスな印象を生み、人々の想像をかきたてることとなった。

□尾仁塚町では、この機会にたくさんの人に観光に来てもらうため、鬼をモチーフにした土産物などを売り出した。2003 年からは部分の時期に「尾仁塚の鬼退治まつり」と題したイベントを開催し続けている。この鬼退治まつりでは毎年 10 万人ほどの観光客が訪れ、尾仁塚町の経済に大きく貢献している。

□実際、現地の土産物店を調査したところ、もって帰ってきたものも鬼をモチーフにした土産物を置いている。店の人が聞いていると、土産物を買に来る人のほとんどが鬼の土産物を買うらしい。鬼の土産物を買うようになって、売上が以前の 2~3 倍に伸びたそうである。

●尾仁塚町と精練工

□尾仁塚町の有名な伝統工芸品として、精練工が挙げられる。これらは「鬼除精工 (おによけざいぐ)」や「鬼除筆筒 (おによけだんす)」などと言われ、昔から高級な工芸品とされてきた。

□鬼除精工の誕生には、やはり鬼が密接に関係している。

□尾仁塚町の鬼退治伝説では、鬼を退治した武士の刀に柄が刺さるが知られていたとされている。このため、尾仁塚町の辺り一帯では「鬼は柄を嫌う」と言われるようになった。そして、鬼のたたりである疫病を防ぐための魔よけとして、

●参考文献

●〇〇新聞 (20XX年〇〇月〇日) □「ピクニックアップ町おこし」

●〇〇新聞 (20XX年〇〇月〇日) □「ピクニックアップ町おこし」

●〇〇新聞 (20XX年〇〇月〇日) □「ピクニックアップ町おこし」

●〇〇新聞 (20XX年〇〇月〇日) □「ピクニックアップ町おこし」

柄の水を植えたり、柄で作った縁工を家の中に置いたり、裕福な家では柄の家具を置くようになったという。

□このようにして生まれた鬼除精工は、厄除けのご利益があるとして、江戸時代には大名にも献上されるようになったが、戦後に安い大量生産の家具などが流通するようになり、近年では高価な鬼除精工は敬遠される傾向にあった。

□ところが、1998 年に公開されたホラー映画『籠の中の鬼』で、ストーリーの鍵となる小物として、鬼除精工の形が使われたことから、鬼除精工に注目が集まることとなった。

□今回私が取材した精練工の工房「吉田屋」の代表、吉田良平氏の話によると、やはり鬼除精工の注文は映画の公開前から急激に伸び、映画公開前の約 2 倍にまで上昇したという。この現象は他の工房でも起こっているとのことである。

□また、映画の影響で鬼除精工を購入した人々も、質の良さを実感し、他の製品も購入する、いわゆるリピーターになる場合も多いらしい。

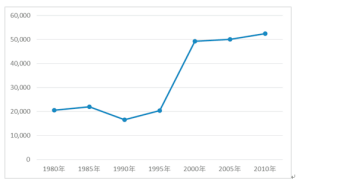


図 2 吉田屋の売上推移 (吉田屋公式ホームページより作成)

●結びに

□尾仁塚町は、かつては鬼に苦しめられ、鬼のたたりである疫病にも苦しめられていた。

□しかし、近年は鬼退治まつりや、鬼除精工の再評価のおかげで、寂れた田舎町であった尾仁塚町が注目されるようになった。言い換えると、鬼が尾仁塚町の衰退を救ったと言える。

□例え人を苦しめる原因となるものでも、発想を転換することで、共存する鬼が可能だということを尾仁塚町の事例は表していると言える。人を苦しめる鬼

のような存在も上手く利用してしまえば、町を衰退から救う秘訣ではないだろうか。

●参考文献

●A 市ホームページ
http://www.city.a-x-x.lg.jp (20XX 年〇〇月〇〇日アクセス)

●吉田屋公式ホームページ
http://yoshidadoo.ne.jp (20XX 年〇〇月〇〇日アクセス)

●〇〇新聞 (20XX 年〇〇月〇日) □「ピクニックアップ町おこし」

●安部 龍子 □『尾仁塚の御土史』 □〇出版 □20XX 年

●藤田 敏弘 □『日本の鬼伝説』 □〇社 □20XX 年